

Rotary



八尾ロータリークラブ会報

2022
vol.61
No.26

2/2



国際ロータリー テーマ

**奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために**

国際ロータリー 会長 シェカール・メータ

SERVE TO CHANGE LIVES

八尾RCバナーの主旨
「我々のクラブは、若いも若きも
相手を敬愛し、和気あいあい、
楽しいクラブライフを送っている
ことが誇りであります」

八尾ロータリークラブ テーマ

ロータリー活動を通じて

『みんなに希望と笑顔を! そしてロータリアンの成長!』

会長 田中 康正

第2908回 例会 プログラム

- 開会 「点鐘」
- ロータリーソング 「国歌」「歓迎の歌」
- 新会員の紹介 北山弾也会員
- ゲストの紹介
米山奨学生 ウアール, ミナ ミネア
アレクサンドラ様
- 出席報告
- 在籍表彰
会員特別表彰
在籍 5年 山本隆一会員
会員年次表彰
在籍14年 澁谷登志和会員
在籍14年 長竹 浩会員
在籍 2年 谷口善紀会員
- お誕生日御祝い
宇野泰正会員(喜寿)
大槻恭介会員・佐々木 洋会員・
鼓呂雲健造会員・竹中浩人会員・
山本昌市会員・福村修一会員

- その他の報告
- 会務報告 「会長の時間」「幹事報告」
- SAA報告 ニコニコ箱
- 卓 話 「グループディスカッション」
クラブ研修委員会
- 閉会 「点鐘」
- 卓話予告
2/9 倉内 雅寛 会員
3/2 からだラボ様
3/9 「子ども・若者・ひとり親～
支援を通して見えた日本の現在と未来～」
3/16 山本浩之様
3/23 インターアクト活動報告
金光八尾高校インターアクトクラブ
3/30 こども食堂

会長の時間

本日もZoom例会に多数ご参加いただき、ありがとうございます。私自身が体調を崩し、12日の新年初例会を中止させていただきました。皆様にはご迷惑とご心配をおかけして、申し訳ありませんでした。新型コロナも年明けから感染が拡大している中ですが、出来る限り前向きに取り組んでいきたいと考えております。

さて本日は、東大阪東RCから吉崎様と滝川様に2月19日のIM第4組ロータリーデーのPRにお越しいただいております。皆様もご参加をよろしくお願いいいたします。

昨年は12月22日の最終例会後、25日に大畑山で「輝」の事業として門松づくりを行いました。親子で門松づくりを体験いただき、竹ご飯も作りました。貴重な、良い経験になったのではないかと思います。八尾RACからも6名が参加し、皆でふれあいをもちました。笑顔があふれる、楽しい一日となりました。また26日には、ひのき苑でもちつき大会を開催。施設の利用者やRACメンバーも交えて交流を行いました。

年が明けて1月8、9日には、少年サッカー大会を開催しました。八尾中央RC様から引き継いだ事業ですが、私も初めて参加し、子どもたちのエネルギーを感じました。今後も支援を続けていければと思います。このほか、八尾RACのメンバーも含め、友田会員の矢作神社へ初詣にもうかがいました。

ところで海外では、12月16日に大型の台風がフィリピン・セブ島を直撃し、多数の被災者が出ています。当クラブでも国際奉仕で事業を計画していた最中でしたが、今現地では何が必要かを聞いているところです。早急に出来ることを考えていきたいと思っております。

そして今月は、職業奉仕月間です。職業奉仕には、2つの視点があると思います。まず1つ目は、仕事に誠意をもって励むこと。そしてもう一つは、間接的な職業奉仕です。私どもの物流業では毎年、献血事業を行っているほか、八尾警察とも協力して交通安全パレードも行っています。

皆さんもそれぞれに行われている職業奉仕があると思いますが、これからもぜひ取り組んでいってください。

幹事報告

▼29日に地区のロータリー財団補助金管理セミナーが開催されます。吉本、児林会員に出席いただきます。

▼2月2日、大阪アーバンRCの10周年記念式典に、井川会員に出席いただきます。

▼2月19日、IM第4組のロータリーデーが開催されます。なおこれに伴い、2月16日の例会は休会いたします。

ロータリーデーのご案内

▼滝川 晃 様(東大阪東RC)

本日は例会の貴重な時間をいただき、ありがとうございます。2月19日にオンラインで、IM第4組のロータリーデーを開催いたします。まずは内容紹介のビデオをご覧ください。

第1部では、コロナ下での青少年たちのZoomによる国際交流の記録をご紹介します。続く第2部は、パネルディスカッションを行います。元青少年交換学生や学友会会長などの皆さんに、パネリストとして参加していただきます。皆様もぜひ、ご視聴ください。

▼IM第4組ロータリーデー・コンテンツ委員長

吉崎 広江 様(東大阪東RC)

日新高校の高校生と、タイとカンボジアの若者たちが昨年11月から、交流事業を行ってきました。当日はその記録をご紹介しますので、ぜひご覧ください。

その他の報告

▼社会奉仕委員会・相馬 康人 委員長

2月19、20日に予定しておりました、里親・里子の支援事業としての白浜旅行ですが、現在の新型コロナの状況を鑑み、やむなく中止させていただくことになりました。

実施できず残念ですが、かわりに何かできないか、考えていきたいと思っております。

「ロータリーの歩み」

▼クラブ研修委員会・井川 孝三 委員長

今回のテーマは幅が広いので難しい卓話ですが、こういうとき私はいつも、戸田孝会員の資料を参考にさせてもらっています。

他クラブや他地区に行っても戸田パストガバナーは有名で、同じクラブの会員として本当に誇りに思います。戸田さんはこれまでに、たくさんの本を残されています。皆さんもぜひ、参考にしてください。

戸田さんはいつも、「大事なことは何回でも繰り返して伝えていかねばならない」とおっしゃいます。良いことはどんどんしなさい、という考え方で。また他のパストガバナーからは「そうした戸田PGからの大切な教えは、次の世代へと伝えていく義務がある」と言われたりもします。

ポール・ハリスは「RCを通じて伝えたいことを一言で言うと何か」と問われて、「tolerance (寛容、忍耐)」と答えたそうです。これがあれば、うまく活動ができる、と彼は言ったのです。

戸田PGは職業奉仕について、「松明を照らし、一隅を照らすことで、社会全体が明るくなっていく」とおっしゃっています。それを一人ひとりがやっていくことの大切さを説かれています。皆さんもそれをぜひ、心にとどめておいてください。

さてここから、ロータリーの歩みについてです。日本は歴史上、いくつかの危機を経験してきました。一つは幕末の開国、そしてその次には日露戦争がありました。日本は大国のロシアと戦うことになりましたが、国の規模が全然違うことから、とてもではありませんが勝ち目のない相手と言われていました。

実はこの年に、ロータリーは第1回の例会を開催しています。1905年のシカゴは万博後の反動で、大不況に陥っていました。街には失業者があふれ、ポリオ患者も数多くいました。荒れて殺伐とした社会の中でポール・ハリスはシルベスター・シールに相談、「クラブを作ろう」ということ

になります。

当時はロータリーのほかにも数多くのクラブがありました。親睦と助け合いのクラブを作り、これが評判となってロータリーに多くの人が集まったのです。

会員は1業種につき1人に限定していたため、多くの希望者は入会できませんでした。そんな中で「苦しんでいる人がたくさんいるのに、自分たちのことしか考えないクラブには入らない」と勧誘を断られたことがきっかけで、「社会のために何かをしよう」と社会奉仕の取り組みが始まりました。

ロータリーの社会奉仕は、socialではなくcommunity service となっています。コミュニティとは、八尾なら八尾と、より限定された地域を指すと考えられます。

その後アーサー・シェルドンやチェスレー・ペリーが入会。そしてシェルドンが、職業奉仕の考えを持ち込みました。

1917年にはアメリカが第1次世界大戦に参戦。ロータリーではアーチ・クランフがロータリー基金を設立します。夜間学校に通っていたクランフは、苦勞して数々の会社を興した人です。

ロータリーで事業を行っていくためには資金が必要になるので、それをあらかじめ集めておいては、と考えました。こうして世界のロータリアンがさまざまな事業に取り組めるよう、基金が設立されます。

ロータリーと同時期にはライオンズクラブも設立されますが、ライオンズ(Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety)クラブは自国の安全を考え、人道的支援を積極的に行うことで有名になりました。

一方でロータリーは「こうした紛争が起こらないようには、そもそも何をすべきか」を考えました。ここでロータリーは、世界平和をめざし、親善奨学生を派遣などを始めます。その後、エドガー・アレンが入会し、身障者の支援にも尽力します。

1947年にポール・ハリスが亡くなった際、ポール・ハリス基金として寄付を募集したところ、大変

な金額が集まりました。この資金を元に、初めて親善奨学生を派遣することができました。「親善」奨学生と呼ばれるのは、ロータリーが世界平和を目指しているからです。

これまで実に4万人以上を派遣し、この中には世界で活躍する人も数多くいます。たくさんの人材を育成し、世界の平和に貢献する人たちを、多数輩出してきたのです。

ところで今月は、職業奉仕月間です。職業奉仕はシェルドンがロータリーに持ち込んだ考えですが、彼はもともと経済学の博士でした。

「最もよく奉仕する者、最もよく報われる」の標語で知られる人物ですが、彼の唱える修正資本主義の考えは、後にケインズが取り上げたことがきっかけでアメリカの政策にも採用されるのですが、それよりも早くにシェルドンが提唱していたのです。

考えてみれば現在の社会は、ロータリーが誕生した当時と似たような状況にあると言えるかもしれません。貧富の格差が拡大している今こそ、私たちもシェルドンの考えを改めて見つめ直す必要があるのかもしれません。

職業奉仕は利益と奉仕という一見相反するものを求めるもので、理解が難しいというロータリアンもおられます。ただロータリーの職業は、occupationではなくvocationという言葉を使っています。Vocationはもともとラテン語で、神様のために働くことを指します。これは「一隅を照らす」という考えにもつながります。与えられた役割に全力を尽くすことで社会全体が明るくなる、という考え方です。

まだまだお話ししたいことがたくさんありますが、

■ 出席報告

月日	会員数	出席	うち出席規定 適用免除者	出席率	メーク アップ	確定 出席率
12/22	68	46	12	79.31%	0	79.31%
1/19	68	38	6	73.08%		
1/26	68	41	6	78.85%		

お時間ですのでまたの機会にしたいと思います。

二 二 二 箱

▼田中会長 本日、ズーム例会参加頂き、ありがとうございます。体調不良になり迷惑ご心配をおかけ、申し訳ございません。皆様もくれぐれもお気をつけ下さい。本日、卓話、井川会員宜しくお願いします。

▼児林副会長 本日もズーム例会ですが、よろしく御願い致します。井川委員長、卓話よろしくお願い致します。田中会長お帰りなさい！！

▼新宮幹事 田中会長お帰りなさい！！井川会員、卓話「ロータリーの歩み」楽しみにしています！！

▼小山会員 ご夫人誕生日。

▼中川会員 誕生内祝い。

▼井川会員 本日の卓話、よろしくお願い致します。

▼西村会員 田中会長おかえりなさい。

▼富田会員 良い事が沢山ありますように！！会長、復帰おめでとうございます。

▼曾家会員 田中会長、復帰おめでとうございます。今年1年よろしくお願い致します。井川さん、卓話、よろしくお願い致します。

▼鍋島会員 井川様、本日卓話よろしくお願い致します。皆様体調いかがですか？早く収まってほしいその一念です。

▼竹中会員 まん延防止で、明日から仕事なくなりました。井川様、卓話楽しみにしてます。



八尾RCの
ホームページも
ご覧ください